

# 最新のアップデート

---

- ▶ 財務大臣はGSTネットワーク構築プロジェクトを138億ルピーでインフォシスに委託、そしてパブリックドメインにドラフトのプロセスをリリースし、産業界のフィードバックを得るなど、GST導入の準備を積極的に進めている。
  - ▶ GST導入のための憲法修正案は、11月26日にラージャ・サバー(上院)に上程され、審議が開始された。もし冬季国会でGST法案が通過すれば、12月中旬あたりに、GST法案がパブリックドメインに公開されるだろう。
  - ▶ 最近、インド政府への主席経済顧問のArvind Subramanianが率いる GSTパネルで、15-15.5%の税込中立レートが提案された。
  - ▶ パネルはさらに、標準税率も現在提案されている28%から17-18%に引き下げるべきと勧告している。
  - ▶ また、必需品等の12%の税率が、輸入車やタバコのような奢侈品には40%の税率が適用されるだろう。
  - ▶ さらに、バリューチェーン全体にわたって、シームレスに税額控除が確実にできるように、GST法案で提案されていた控除不可の1%の追加税など、全ての州またぎの税金を撤廃することも勧告された。
  - ▶ 政府はまた免税対象となる物品をできるだけ最小限にとどめ、上記の税込中立レートを達成できるよう、物品リストを作成中である。
-